



# 市議会だより

**No.110**

2008年 4月28日発行  
(平成20年)

編集発行  
日向市議会  
日向市本町10番5号  
TEL 52-8348



牧水公園のつつじ

## もくじ

- 市長から提案された  
議案と審議結果 ..... 2
- 委員会審査から  
..... 3
- 請願等の審議結果と  
委員長報告 ..... 4
- 一般質問 ..... 5
- 意見書 ..... 6
- 特別委員会報告 ..... 10
- 議会日誌 ..... 11
- ..... 12

- ◇ 市長提出議案  
・ 人事案件 ..... 1件
- ・ 条例 ..... 11件
- ・ 事件決議 ..... 5件
- ・ 補正予算 ..... 27件
- ◇ 議員提出議案  
・ 条例 ..... 1件
- ◇ 請願等（継続分含む）  
・ 陳情 ..... 2件

◇ 会期 2月8日～2月28日  
(21日間)

## 2月定例会

(平成20年第1回定例市議会)

～市民が奏でる“交響”空間 優しく 強く 温かい 人とまち～

平成20年度一般会計予算(骨格) 239億8,700万円

対前年度比5.3%減 地方債依存度 10.3% 対前年度比 0.8%減

本年度の予算は、第5次日南市総合計画の基本方針に基づきつつ、「骨格予算」として編成されています。(※骨格予算とは、市長選挙が間近にある場合、新年度の予算は、新市長のもとでという考えから、必ず予算化せざるを得ない人件費などの義務的経費を主体として、政策的な予算や新規事業は盛り込まないで編成した予算のこと。)

Table with 2 columns: Project Name and Amount. Includes items like '市民活動支援事業' (1,521万円), '地域生活交通対策事業' (1,612万円), '地域自治区振興基金事業費' (1,215万円), etc.



ぶらっつとバス

委員会審査から

第一回定例会初日に上程された市長提出議案四十四件については、九日間の議案熟議の後、二月二十二日に本会議で質疑を行い、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。

総務企画常任委員会

平成十九年度一般会計補正予算中、公債費について 今回補正により公債費の一部について繰上償還を行っているが、後年度の財政負担を軽減し、財政健全化に寄与する有効な手段として評価できるものである。

次に、平成二十年度一般会計当初予算から市税の収納について、市税の収納に対する取り組みについては、昨年度の収納率の実績に見られるように当局の努力は大いに評価できるものである。

文教福祉常任委員会

まず、後期高齢者医療制度について、四月からの制度開始に向けて、関係条例と特別会計予算が提案された。同制度は、七十五歳以上の全員を被保険者とする制度で、これまで保険料を負担しているにもかかわらず社会保険等の被扶養者にも保険料支払い義務が生じ、また年金天引きによる特別徴収が行われるなど、高齢者の負担増や徴収方法について多くの問題点を指摘

▼市長から提案された議案と審議結果

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 審議結果, 付託委員会. Lists 44 proposals and their outcomes, such as '監査委員の選任について' (同意) and '日向市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例' (可決).

認知症の対応については、家族はもちろぬ、医師、介護従事者等を含め周囲の人々の正しい理解とサポートが安心の鍵を握ると言っても過言ではない。今後、認知症専門医の拡充や関係職員の研修機会の増大、市民への啓発などに率先して取り組み、地域包括支援センターを核とした高齢者介護サービスの更なる充実が求められている。次に、教育費の教育総務費、「障がいのある児童、生徒の教育の充実」について、審査の中で、教育長から、現在の「生活介助員」を、その役割を明確にすべく、「特別支援教育支援員」と名称変更し、現行十二名から二十名へ増員すると説明があった。

特別支援教育については、全児童の六％は存在するともいわれ、いわゆる発達障害児を含め、幼児期からの総合的な支援の大切さが指摘されている。教育委員会としては、気軽に相談できる窓口の整備など今後の積極的な取り組み方針を示されているので、幼児期からの一貫した支援体制を整えるべく、できるだけ早期に実現に至るよう努力されたい。

最後に、日向市病院事業会計について、審査の中で、今回、日向市立東郷病院あり方等検討委員会の提出した「日向市立東郷病院のあり方等に関する提言書」についても説明を受けた。その内容については、地域住民の大切な命の砦という視点に立つて、今後慎重且つ十分に検討を重ねる必要がある。

そもそも東郷病院は、医療、保健、福祉三者の密接な連携により地域住民の健康を守る中核医療機関としての役割を担ってきた。高齢化が進み、医師の減少等により患者数が減る中で、経営改善に鋭意努力されている点は高く評価したい。しかし、厳しい財政状況を背景に、東郷病院の今後については、同提言書を踏まえて改革が行われるが、その際、視点はあくまでも地域住民の安心、安全を第一に、地域医療先進例にも学び、多様な地域医療の展開の可能性も十分に模索、検討し、住民の期待やニーズにしっかりと応え得る地域医療機関としての充実を目指して、今後にも更なる努力されたい。



日知屋保育園 (現地調査)

### 建設水道常任委員会

土木費中、都市計画費の繰越明許費について。繰越明許費が発生する理由については当局の説明を受け、理解できるとして、建設水道常任委員会

まず、文化スポーツ課の組織について。平成十八年度の決算審査の中で述べたが、当初予算を見ても文化スポーツ課が所管する事業、イベントの数が多く更には土曜、日曜日に集中することからして現在の人員では無理な面が見受けられる。適切な人員配置、組織のあり方を検討されたい。

### 生活産業常任委員会

文教科常任委員会 妊婦健康診査の充実について 陳情の要旨は、少子高齢化が社会問題となるなか、本県の人口死産率は全国で最も高く、経済的理由によるものが一番多いという調査結果がでている。妊娠中の女性が健診を受けず、出産直前に異常が分かり、母子ともに危険な状態に陥った例もあり、経済的理由で健診の受診回数を減らしている実態はかならずあると思われる。厚生労働省からも公費負担による健診の公費負担の望ましい在り方について、の通知も出されているので、日向市においても安心して妊娠・出産できる環境を作るために、「公費による妊婦健康診査の回数増」と「妊婦健診の重要性についての周知徹底」の二項目を実施していただきたい、というものである。

### 請願・陳情に関する委員長報告

#### 文教科常任委員会

##### 妊婦健康診査の充実について

陳情の要旨は、少子高齢化が社会問題となるなか、本県の人口死産率は全国で最も高く、経済的理由によるものが一番多いという調査結果がでている。妊娠中の女性が健診を受けず、出産直前に異常が分かり、母子ともに危険な状態に陥った例もあり、経済的理由で健診の受診回数を減らしている実態はかならずあると思われる。厚生労働省からも公費負担による健診の公費負担の望ましい在り方について、の通知も出されているので、日向市においても安心して妊娠・出産できる環境を作るために、「公費による妊婦健康診査の回数増」と「妊婦健診の重要性についての周知徹底」の二項目を実施していただきたい、というものである。

#### 建設水道常任委員会

##### 市道二十八号落鹿寺迫落鹿区内道路拡張工事に関する陳情書

本陳情の対象となっている現地の状況は、現地調査においても明らかとなっており住民生活へ支障をきたしている。道路整備に係る財政的な状況も考慮するところではあるが、当局へ積極的に働きかけるといふ意味合いからも、採択すべきであるという意見。また、同様の陳情を受けている当局からは、道路維持補修的な整備には取り組んでいくが、道路拡張等に関することについては、優先順位を考慮しながら、段階的な整備の方法について検討するという説明を受けた。本陳情の道路整備に関しては、かなりの予算をとることも予想されることから、最終的には当局の判断に委ねることはあるが、陳情の趣旨は十分理解できるものである。趣旨採択とすべきではないかという意見が出された。

次に社会教育費中、文化交流センター管理費について。東郷地区文化センターの施設管理運営費が六百三十八万四千円予算上されているが、それに比べ歳入の使用料収入が十三万円の予算計上となっている。これらの数字は、あまりにも収支のバランスを欠いているといわざるを得ない。みんなが使用しやすいような基本的な対策が必要である、十分協議されたい。

### 行政視察報告

平成十九年度、全四委員会、及び、議会運営委員会が行政視察を行いました。今回は、代表して文教福祉常任委員会の視察報告を掲載いたします。

文教福祉常任委員会は、平成十九年十月二十四日から二十六日にかけて、岡山県新見市、島根県松江市、出雲市を視察しました。

#### 岡山県新見市「きらめき広場・哲西」について

「きらめき広場・哲西」は、役場庁舎、診療所、図書館、健康福祉センター、文化ホールを一体化した複合施設として、平成十三年十月に完成。その建設に当たって旧哲西町は、小学生以上の住民に最も高かった「保健医療」と「診療所」を中心に建設されたのが「きらめき広場・哲西」である。完成から二年後、旧哲西町は新見市と合併するが、前町長の深井正氏は、「きらめき広場・哲西」を中心に築いてきた地域包括ケア体制の維持なくして合併無しとの強い思いで、合併後もNPO法人を設立し、「きらめき広場・哲西」を住民主体で運営されていた。診療所の佐藤勝医師も、これまで連携の難しかった保健・福祉・医療・教育の有機的なつながりを構築し、一層きめ細やかなサービスを提供しており、その取り組みは先進事例としてNHKでも取り上げられるなど、目覚ましいもの

であった。

#### 島根県松江市

##### ①「発達障害早期総合支援モデル事業」

松江市は市役所にて、「発達障害早期総合支援モデル事業」に担当する教育委員会の「幼児特別支援教育」担当者から説明を受けたが、松江市は、幼稚園が殆ど市立という特殊性を生かし、そこを拠点としてチーフコーディネーター(相談員)を配置し、幼児期からの一貫した取り組みが特徴的であった。サポートファイル『だんだん』という独自に作っている記録表(個表)があり、障がいのある子供の乳幼児期からの健診、相談の記録等をこれ一冊に記録し、保護者などがへ行くにも持ち歩くことで、情報提供と適切な支援が不変的に出来るものであった。ここでも、保健、福祉、教育、医療等の連携が際だっていた。

#### ②「コンテイコしまね」

引き続き、NPO法人「コンテイコしまね」に説明を受けた。「コンテイコしまね」は、平成十三年に特定非営利活動法人として、その名(コンテイコ)あなただけと成年後見制度について、当事者の立場にたった支援システム

を形成しようとした設立された団体。平成十六年度鳥取県に続き、島根県が評価推進機構を設けたのをきっかけに、地域住民と専門家がネットワークを組み、福祉サービスの第三者評価登録を行い、福祉サービスの外部評価を行っていた。

#### 島根県出雲市

##### 「地域学校運営理事会」について

出雲市は、平成十七年三月に二市四町が合併して新出雲市が誕生。同年十二月出された「出雲中央教育審議会」の第一次答申を受けて、平成十八年度から「地域学校運営理事会」制度を運営している。出雲市の「地域学校運営理事会」は、出雲市教育委員会及び校長の権限と責任のもと、地域・学校・家庭が協働して、学校の教育活動に主体的・積極的に支援協力するための組織で、「学校の応援団」として位置づけられている。かの有名な西尾出雲市長のリーダーシップにより、全ての中小学校に設置され、その導入に当たっては地域学校運営理事会制度の進んでいるイギリスに関係者を派遣し研修させるなど、将来的には教育委員会中心ではなく、地域で独自に学校を運営できるようにしていくという実践実行の市長の強い思いが感じられた。

### ▼議員が提案した議案と審議結果

議案番号	議案名	審議結果
第13号	日向市中小企業振興基本条例	継続審査 (賛成多数)
第1号	道路特定財源の暫定税率の維持・確保に関する意見書	可決 (賛成多数)

### ▼請願・陳情と審議結果

請願番号	請願陳情件名	審議結果	付託委員会
陳情第2号	妊婦健康診査の充実を求める陳情書	取り下げ	
	日向市日知屋8326-16 新日本婦人の会 日向支部	江川斐子	
陳情第3号	市道28号落鹿寺迫線落鹿区内道路拡張工事等に関する陳情書	趣旨採択 (全員一致)	建設水道
	日向市美々津町1774-1 落鹿区長 黒木邦雄他5名		
陳情第4号	妊婦健康診査の充実について	採択 (全員一致)	文教福祉
	日向市日知屋8326-16 新日本婦人の会 日向支部	江川斐子	

# 一般質問 市政を問う

2月定例会では、2月18日から20日までの3日間、市政に関する一般質問が行われ、12人の議員が登壇しました。これらの中から登壇議員が選んだ質問と答弁の要旨をご紹介します。(文章は、質問した議員本人の執筆です。)

**問** 市民との協働を具体的に推進するための「協働のまちづくり指針」を策定するなど、この一年で確実に推進する基盤が整ってきた。今後は、区長、公民館長連合会と連携をとり、平成二十一年度の問題や課題を分析したい。

### 青少年育成について

**問** 未来を担う若者たちが、たくましく生きる力と思いやり的心を持つた人間に成長する取り組みについて、どのような取り組みを行ってきたか。  
**答** 不登校などの児童生徒に対する専門相談員が学習支援や学校復帰支援を行ってきた。問題を抱えている児童生徒、保護者へは、適応指導などを実施し、三十人学級の試行等できめ細かく支援が可能となり、一定の成果が得られた。

**問** 本市だけの問題ではなく、全国的な問題であることから、国において雇用や賃金、社会保障、税制、教育といったあらゆる分野での政策的、制度的対策を講じる必要があると考えている。後期高齢者医療制度の中止見直しを

**問** 高齢者に負担増と医療の差別を押しつけるこの制度に対して、今全国の高齢者クラブをはじめ団体個人から四月からの実施に対して中止、見直しを求める怒りの声があがっている。全地方議会のうち五十三議会で制度の中止を求める意見書が可決されている。新たな情勢はどう受けとめているか。  
**答** 四月一日実施に向けて準備が進められており、現在のところ制度の中止や見直しは難しいと考えている。

### 細島地区にもぶらっとバスの運行を

**問** ぶらっとバスの運行見直しを行って、細島地区の高齢者からの運行を求める強い声に応えよ。今後の計画はどうなっているか。  
**答** 現在「市民バス検討委員会」等により検討を行っている。細島地区での運行要望があることについては、市民アンケートの調査結果などから十分承知している。新たな地区への乗り入れに

際しては、バス事業者との競合をはじめ経路、車両、運行時間といった課題があるので検討して参りたい。  
**岩切 裕 議員**  
(社会市民連合市議団)  
認知症に対する支援体制の構築を

**問** 認知症罹患患者が増えている。患者・家族を支えるために、県に認知症サポート医の養成や掛かり付け医の認知症対応力向上研修などの積極的な取り組みを求め、また市民啓発や支援ネットワーク形成に努めよ。  
**答** 認知症サポート医の養成研修等も社会問題として捉え、啓発や相談・支援体制、またネットワーク化については「SOSネットワークひょうが」の充実に努めたい。

記・調査業務への影響が大きく、存続を強く要請した。今後は、東白杆管内の自治体、関係諸団体と連携をとり、具体的な対策を講じたい。  
**教育委員会所管事務の市長部局への移管の妥当性について**  
再点検を



宮崎地方務局日向支局

**木田 吉信 議員**  
(政真会)  
「新しい日向市総合計画」について

**問** 日向市総合計画がスタートして、一年が経過したが、課題・問題点と、公助中心の行政指導から「自助・公助・共助」が融合される社会の方策を、広く市民に周知させる方策についてどのように考えているか。

**黒木 万治 議員**  
(日本共産党市議団)  
貧困と格差を打開して生命と暮らしを守る市政を

**問** 世界第二の経済大国と言われる日本で各層各分野で貧困問題が深刻化している。とりわけ高齢者、若者、母子家庭、中小企業者など市内でも切実な声が寄せられている。もたらした原因と打開する展望についてはどうか。

**西村 豪武 議員**  
(行財政改革クラブ)  
今後の情報通信基盤の整備等について

**問** 防災行政無線の旧東郷町地域への整備やT・V地デジ放送の難視聴対策、携帯電取の不感地帯の解消対策等の取り組みを示せ。

**答** 防災無線整備は平成二十一年度から旧東郷域を整備し、以降市内全域に屋外スピーカー等を整備。地デジの共聴施設のデジタル改修整備は平成二十三年七月迄に終了、NHKの共聴施設以外の自主共聴施設は市で改修の予定。携帯電話対策は事業者が対応しない地区等は、国、県の補助事業を活用し、様々な整備手法等を検討したい。

**救急業務体制の確立等について**

**問** 南分遣所及び東郷町分遣所開設と救急車の配置等について具体的な導入の時期はどうなっているのか。

**答** 東郷町分遣所開設は平成二十一年度中に運用開始予定。設置場所、規模、配備車両や人員配置等を今検討中。南分遣所への救急車配備は県の「市町村消防広域化推進計画」の平成二十四年度までに策定の「構成市町村広域消防運営計画」の中で広域的な

救急業務体制の確立に取り組む。行財政改革は民間発想で取り組むべき

**問** 「仮称・総合政策戦略推進プロジェクト」等の政策集団の立上げや市長公用車廃止、運外外部委託や道路冠水時の教訓を活かした公用車対策等を示せ。  
**答** 地方再生施策の効率的、効果的な活用のため、分野を横断した調査研究及び政策立案を行うプロジェクトチームの設置を指示。市長車は過密なスケジューリングの観点から外部委託はそぐわない。悪路対策で四輪駆動車は導入済みだが、今後は災害時対応も考慮し、効果的な車種選定に努める。

**鈴木 富士男 議員**  
(政真会)  
市町村合併

**問** 東郷町との合併の成果と課題について。  
**答** 成果については、地域協議会の積極的な取り組みをはじめ自治体振興基金の活用による独自の講演会や地域文化の伝承保存等、一定の成果が得られていると思う。なお、課題については、自治会活動交付金を活用した公民館での部会の取り組みで差異がみられた所であるが、地域性の違いや交付金導入初年度であったため

と分析している。行財政改革

**問** 行財政改革の成果と今後の方向性。  
**答** マニフェストの中に「ゼロからの行財政改革」を掲げ、これまでの資源物回収業務の民間委託を始め、粗大ごみ、燃えないごみ処理、日知屋保育所の民間移管、二十九施設への指定管理者制度の導入などをしてきた。しかしながら、依然として財政状況は厳しく、今後とも選択と集中により更に徹底した行財政改革を推進して行く事が急務であると考えている。

**鈴木 富士男 議員**  
(政真会)  
市政運営の基本的な考え方

**問** 一期目の市政の総括について。  
**答** この四年間「誠実、情熱、実行」という基本理念のもと、「元気で活力ある日向の再生」に取り組んできた。四年度で、十一社の企業立地や、新日向市駅の完成等色々取り組み、総務大臣表彰や林野庁長官賞、国土交通省鉄道局長賞を受賞し、全国から大きな注目を集めている。これから地方の時代といわれる中、市民と皆さんと行政が連携していく事が重要であると考えている。

## 平成19年中の議会活動

### 市議会開催状況

議会開催	会日	則数	本会議		傍聴者数	うち市長提出議案				うち議員提出議案	
			会期中	閉会中		議案	議決	その他	決議等	意見書	
3月定例会	25日	7日	4日	17人	104人	59件	14件	29件	13件	2件	1件
5月臨時会	1日	1日	-	-	2人	2件	-	-	1件	1件	-
6月定例会	21日	7日	4日	16人	94人	28件	3件	3件	19件	2件	1件
8月定例会	1日	1日	-	-	1人	2件	-	-	2件	-	-
9月臨時会	25日	7日	4日	14人	100人	25件	3件	13件	5件	-	4件
12月定例会	21日	7日	4日	14人	70人	40件	7件	8件	18件	5件	1件
計	94日	30日	16日	61人	371人	156件	27件	53件	45件	6件	7件

### 常任委員会・議会運営委員会の会議日数等

委員会	委員会開催日数		付託案件数		行政視察日数
	会期中	閉会中	議案	請願等	
総務企画常任委員会	10日	-	25件	1件	3日
文教福祉常任委員会	11日	-	26件	5件	3日
生活産業常任委員会	7日	-	22件	1件	3日
建設水道常任委員会	7日	-	35件	-	3日
議会運営委員会	12日	9日	-	-	-

### 請願・陳情審議状況

区分	採択		不採択	継続審査	取り下げ	審議未了	合計
	採択	不採択					
請願	2件	-	-	-	-	1件	3件
陳情	1件	1件	1件	-	-	1件	4件

※継続審査の件数は、翌年(平成20年)に継続したものを掲示。

萩原 紘一 議員

(日本共産党市議員)

行政の責任で安心して働ける条件を

労働法の改悪は、若者、女性、中高年の方々にも大きな影響をおよぼしている。市の誘致企業でも①仕事はきつい、過密労働で頸肩腕症に。②同じ仕事で待遇がちがひ、正規、非正規が契約社員、派遣労働者の多数が人間らしい働き方のルールを求めているかどうか。

本市の調査では正社員が四十九パーセント、非正規が五十一パーセントとなっている。今後も正規の労働者となっていくよう働きかける。

憲法が示す平和な社会、政治を

市で上映された「母べえ」が感動をもちました。母べえが感動をもちましたものは何か。この映画は「治安維持法違反」で拘束されたドイツ文学者とその妻、娘たちが肩をよせあつて生きる姿、戦争が家族の絆もひきさくことを描いている。吉永小百合さん、「二度とこの「父べえ」と「母べえ」のような時代にならないように」と言われているがどう受けとめられるか。

平和の大切さを後世に伝えていくことは重要であると

子どもたちの健やかな成長を

市の児童生徒の健康診断の結果にみられる特徴とその対策についてはどのようにしているのか。学校の保健室、養護教諭や学校教育課などの果たしている役割は大きい。今回は特に視力と虫歯等の実態と改善対策について明らかにしてほしい。

小学生とも高学年になる小中学生の罹患状況が高い。また眼科についても、学年が上がると視力、視力二〇未満の割合が増加している。今後医療機関への受診指導の徹底をはかっている。



つどいの広場「たんぼほきつず」

限界集落は、高齢化率だけではない分析が必要であるが、現在担い手不足による遊休農地や植栽未済地の増加など困難な課題に直面してあり、過疎地域立促進計画や山村振興計画などに基づいて生活環境施設などの整備を推進している。鳥獣被害対策についても、県補助を活用した電気柵の設置や、有害鳥獣捕獲従事者により捕獲の推進をしている。

食の安心・安全について

食品企業の不祥事に関して、食の倫理と信頼回復をはかり安心・安全な食品を選ぶ

環境づくりにも努めるべきと考えるが市長の見解について伺う。

食品を扱う企業には、高い倫理が求められる。消費者に対しての食の安全指導については、消費生活センターなど関係機関と連携を取りながら、食品の安全、安心についての研修を積極的に実施し、広く啓発に努めてまいりたい。

日向市立東郷病院について

病院経営、運営の今後の考え方、及び検討委員会での協議内容を伺う。

地域医療の大幅な後退を避けるためにも東郷病院の存在

平成20年度 一般会計以外の予算状況

Table with 3 columns: 会計区分, 当初予算額, 対前年度伸率%. Rows include 公営住宅事業, 住宅新築資金等貸付事業, etc.

黒木 未人 議員

(政真会)

区、公民館(自治区)への加入促進について

区への加入促進を図る取り組みは行っているか。

加入促進を図るための具体的な取り組みとして、集合住宅居住者の加入を促進するため、社団法人宮崎県宅地建物取引業協会日向支部に、新規居住者への区加入促進チラシの配布依頼を行っている。今後は、加入促進が重要と認識し、積極的に区長会連合会と連携して加入促進に努力していく。

県との人事交流について

現在、本市から職員を派遣しているが、派遣するだけではなく、市の農林水産部門などへ県からの専門職員の確保は出来なから。

「攻めの農林水産業」の展開を重点プロジェクトのひとつとして位置づけていることから県当局に対し、要望していく。

市民からの要望に対する事務処理の期間を二週間と決めて対処したらどうか。

要望等への回答は、現在のシステムを改善し、二週間以内に回答出来るように努めてまいりたい。

江並 孝 議員

(公明党市議員)

戦略的な「行財政の改革」で持続可能な自治体構築を

人口減少・少子高齢化社会では、自治体の標準的な財源である「標準財政規模」を基準にした事業のあり方、財政的危機感から総人件費の縮減など、戦略的な「行財政の改革」が求められる。見解を伺う。

自治体を取り巻く急激な社会変化に柔軟に対応するため、「市民との協働」を基本理念に「総合計画」「行政改革大綱」「財政改革プラン」の三つの計画を策定し、市債残高の圧縮、経常経費・普通建設事業費等の抑制を図っている。

「事業仕分け」と「アウトソーシング」で財政の健全化を

財政の健全化を構築するためには、どの様な手法で「事業仕分け」を行い、事業のスクラップおよびビルドを図り、「アウトソーシング」による事業の実施を行うか。さらに、損害賠償等のリスク対応の法的整備が求められる。

見解を伺う。「市民や市民団体等との協働」を重視し、事業仕分けの手法を取り入れた評価制度を行う予定。その評価結果により、市民との協働等の手法を研究する中で「アウトソーシング」を図りたい。また、リスク等の法的整備も対応する。

地域福祉政策のあり方と戦略的対応と先見性について

地域包括支援センターを継続的包括ケアとする地域福祉の拠点モデルとして参考にすべきである。地域福祉政策の具体化は「地域福祉計画」である。策定及び「ワンストップサービス」導入と「地域自立支援協議会」の充実を図れる。

「地域福祉計画」については、制度の変化を踏まえ十分な議論を行い、政策会議、市長判断を得て今年度中に公表を考えている。また、ワンストップサービスを導入するためには、職員の幅広い知識を必要とする専門性が求められる。

田原 千春 議員

(豊政会)

中山間地の過疎化対策について

限界集落になりつつある集落の課題、振興策また鳥獣被害の対策について伺う。

片田 正人 議員

(豊政会)

協働と情報公開、情報の共有化について

「市民まわりの支援事業」や「市民表彰賞」などの施策は、広く市民に理解を求め、協働を仰ぐべきであるが、その仕組みづくりにおける協働、情報公開、情報の共有化をどう考えるか。また、条例化を通して市民全体の議論が必要不可欠だが、条例化の要、不要などの判断基準や行政内部の具体的検討のあり方をどう考えるか。

施策が条例によるか否かを問わず、今後とも施策の決定・遂行には透明性の確保と説明責任の履行に努めたい。

行政のコンプライアンスについて

顧客の要求と営利が直接結びつくことで、外部から、コンプライアンス確立が重要とされる営利企業と異なる、営利性を代替性が働きにくい行政サービスの現場でどのようにコンプライアンスを高めるのか、市長の見解を伺う。

コンプライアンスとは、市民の期待や要請が何であるのかという視点に立った行政運営を行うことであり、施策や事務業務の決定から執行までのあり方

競争率が発生しにくい業務や、高額の価格の業務を受注した事業所の会社概要や受注の主な理由など情報発信する考えはないか。

入札、契約に関する情報については、市のホームページ等で十分に情報発信している。必要によつては、受注した会社の概要等についても情報発信する事は可能であるので、その様にしていく。

競争率が発生しにくい業務や、高額の価格の業務を受注した事業所の会社概要や受注の主な理由など情報発信する考えはないか。

入札、契約に関する情報については、市のホームページ等で十分に情報発信している。必要によつては、受注した会社の概要等についても情報発信する事は可能であるので、その様にしていく。

を、常に評価・点検し、その質を高めていく。

### 細島東部住環境整備事業について

**問** 少子高齢化が進み、交通インフラ整備が不完全な地域での住環境整備について、公共交通手段の確保や防災などの観点から、今後どう考えていくのか。

**答** 今まで、道路・公園・コミュニティ住宅等の公共施設の整備と並行して、住宅事情の改善、居住環境の整備、防災に関する機能確保を目的にして、年次的に進めている。今後も安全で快適な住環境の形成に努める。交通手段の確保についても、地域の要望を伺い、検討していく。



細島東部第2住宅

### 那須 和代 議員 (日本共産党市議員)

#### 学校の施設整備の改善を

**問** ゆき届いた教育条件のひとつとして、施設整備の充実が求められている。各学校から出される特に要望の切実なものについては今後の財政措置も含めた対応を求めることについて問う。

**答** 各小中学校施設の補修、各施設等の改善充実について、毎年度初めに、各学校に宮城要望書の提出を求め、児童生徒の安全面に配慮しながら、優先的に整備の必要な箇所から各種施設等の改善充実を図っている。

#### ごみ減量対策と生ごみ、廃油の収集と資源化について

**問** コンポスト貸与等、生ごみ対策が行われているが今後ごみの堆肥化、廃油の資源化について問う。

**答** 生ごみは、ごみ処理基本計画で平成二十三年度に家庭系生ごみの分別収集を計画している。事業活動に伴う廃油は産業廃棄物で、一部事業所で収集と石けん作りが行われているが、費用対効果など課題も多い。家庭から出る廃油の資源化は調査研究している。

### 議員提出議案 意見書 関係行政庁に送付し 実現を要請しました。

#### 道路特定財源の暫定税率の維持・確保に関する意見書

道路は、活力ある地域社会を形成し、真に豊かで潤いのある生活の実現を図るうえで最も基本的な社会資本である。

本市においては、道路交通への依存度は極めて高いにもかかわらず、道路の整備は立ち遅れている状況にあり、東九州自動車道をはじめとした高規格道路はもとより、国道、県道、市道に至る生活道までの一体的な道路交通網の早急な整備が必要不可欠となっている。また、今後、老朽化した橋梁やトンネル等の、維持・補修費の増大も見込まれている。

このような状況の中、これらの道路整備費の根幹となる道路特定財源の暫定税率を維持する法案は、平成二十年一月十八日に召集された通常国会において審議されることとなった。これが年度末までに成立しなければ、国と地方で約二兆六千億円の大きな歳入欠陥が生じることとなる。特に、地方は九千億円の減収以外に、地方道路整備臨時交付金制度も廃止になった場合、一兆六千億円規模の歳入欠陥が生じ、予算編成に大きな影響を与え、道路の新設は

### 男女共同参画社会づくりのとくみ

**問** 日向市基本計画に男女共同参画社会づくりの推進があり「さんびあ」を拠点に市民団体と行政の努力で活動が進められているが、これまでの成果と課題、今後の活動方針について問う。

**答** 「さんびあ」を中心に市民を対象にした様々な講座の開催、啓発活動、相談事業の取り組みは、市民活動団体との連携協力が県内でも高い評価を得ている。行政と市民が共通認識を持つて継続して取りくみ必要があり、さらに連携をしながらとりくんでいく。

#### 企業誘致・地域産業活性化対策特別委員会委員長報告(経過報告)

二月二十八日の最終日に、企業誘致・地域産業活性化対策特別委員会委員長から、委員会の経過について報告がありました。以下、委員長報告をご紹介します。

平成十九年二月十九日、宮崎県庁において国内最大の製材メーカー中国木材株式会社(本社・広島県呉市)が宮崎県森林組合連合会、宮崎県木材協同組合連合会及び宮崎県造材材生産事業協同組合の代表者に日向市進出計画を示した。その計画を知った日向地区の製材業者や一部の森林組合関係者がいち早く進出反対の署名・陳情

活動を行い、後日、五月十八日に日向市中央公民館で「中国木材株式会社日向市進出反対決起集会」を行った。

本市議会には、同年三月の第一回日向市議会(定例会)に三月十三日付で宮崎県森林組合連合会他二団体から中国木材株式会社進出反対の請願が出された。生活産業常任委員会が審査の結果、請願が提出されて、期間も短く十分な調査、審査をする時間がとれない中、事実関係において不明確な部分が多々現段階では採択・不採択の結論を出すことができない。今後も継続して慎重に審査するために継続審査とすべきであるとの動議が出され、賛成多数を持って継続審査となった。

その際、「この請願の背景には、森林の多面的な役割と今後の林業のあり方、企業誘致と地場産業の振興・環境の保全、災害の防止など、これから調整が必要多くの課題があり、その解決には行政の責任ある対応が不可欠である。市当局においては課題解決に向けて積極的な努めるべきである。」との意見を付記した。しかしながら、この請願は、議員の任期満了により廃案となった。

その後、四月の改選による第二回日向市議会(臨時会)が五月十四日に招集され、議会運営委員会において、企業誘致や雇用問題など地域活性化のための方策を広く調査研究するため、十三人の委員で構成する企業誘致・地域活性化

対策特別委員会を設置すべきとの決定がなされ、本特別委員会を設置した。

以後、本特別委員会は、五回の中国木材株式会社進出の経緯及び耳川流域の森林・林業の現況について説明を求めたほか、この間、美郷町南郷区及び日向市内の製材事業所等の現況調査を行ったうえで中国木材株式会社伊万里コンビナートと関係事業者等への調査を実施し、その内容については、それぞれ立場からのレポートをまとめている。

そもそも当初から、中国木材株式会社は、地元の合意形成がなされないという進められてきたようであるが、様々な課題に対する具体的な計画が同社から示されないうまま、現在に至っている。そこで、本特別委員会としては、設置以後、調査・審査を行ってきたが、関係者等から新たな進展が見られないうままであるため、引き続き経緯を見守ることとし、今後とも調査を継続していくこととするものである。

以上、本特別委員会の現在までの経過報告とします。



### 「議会だより」の経費(10万円)

先日、市の広報係へご意見があり、その中で、議会だよりについてご意見をいただきました。議会だよりはカラー印刷で、経費がかかっているのではないかとご質問でした。

議会だよりについては、平成十六年度から表裏紙についてカラー印刷し、平成十九年度から中のページについて二色刷りいたしました。その経費は、十六年度が二百八十八万円、十九年度は二百二十二万円(見込み)となり、正月号だけ表裏紙カラー印刷していた平成十五年度の百八十九万円と比べると、平成十九年度で約六十七万円の経費削減となっております。これは、契約が競争入札によって行われていること、カラー印刷技術の向上によるものと考えるところです。今後とも、ご意見お待ちしております。貴重なご意見をありがとうございます。



塩見大池線道路改良事業

### 人事案件

#### 監査委員に

#### 甲斐秀夫さんを選任

監査委員のうち甲斐秀夫さん(財光寺)の任期が本年三月三十一日をもって満了となりますが、引き続き、同氏を選任することに同意しました。

### 日向市議会ホームページをご活用ください。

http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/shigikai/



議員名簿、議案等の様式、会議録などをご覧いただけます。

### 市議会を傍聴してみませんか?

市議会を傍聴することは、市政の動きや課題を理解し、皆さんから選ばれた議員の活動状況などを知る一つの方法です。

市議会は、毎年4回の定例会(通常3月、6月、9月、12月)が開かれますが、この時には市政全般についての一般質問が行われます。

また、必要に応じて開かれる臨時会があります。会議の日程や傍聴について詳しいことは、議会事務局(電話52-8348)までお問い合わせください。



#### 議会傍聴時の注意点

- 携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。
- 録音・写真撮影をされる場合は議会事務局に申し出て、許可を受けてください。
- 入口の傍聴者受付票にお名前を記入してください。

#### 今後の議会日程(予定)

5月臨時会	6月定例会
15日(水)	6日(金)
16日(木)	16日(金)
17日(金)	23日(木)
18日(土)	24日(金)
19日(日)	25日(土)
20日(月)	26日(日)
21日(火)	
22日(水)	
23日(木)	
24日(金)	
25日(土)	
26日(日)	

※日程は変更される場合がありますので、ホームページ等にてご確認ください。

## 議会日誌

(1月20日～4月19日)

- 1月24日 三重県伊勢市議会来訪  
28日 香川県坂出市議会来訪  
29日 熊本県宇城市議会来訪  
30日 第3回宮崎県市議会議長会定期総会(西都市～31日)  
31日 議員研修会
- 2月1日 埼玉県入間市議会来訪  
議会運営委員会  
4日 中小企業振興基本条例審査特別委員会  
5日 岐阜県関市議会来訪  
平成19年度大分・宮崎・熊本県議会県境議員連盟総会  
後期高齢者医療広域連合議会議運検討会(宮崎市)  
8日 平成20年第1回日向市議会(定例会～2月28日)  
13日 九州横断自動車道熊本・宮崎合同提言活動(東京都～14日)  
15日 道路特定財源関係諸税の暫定税率の延長等を求める宮崎県総決起大会(宮崎市)  
20日 全国高速自動車道市議会協議会第2回理事会(東京都～21日)  
21日 中小企業振興基本条例審査特別委員会  
第5回企業誘致・地域産業活性化対策特別委員会  
27日 第1回日向東臼杵南部広域連合議会議会運営委員会
- 3月6日 第1回日向東臼杵南部広域連合議会  
10日 宮崎地方法務局日向支局の存続を求める要望活動(宮崎市)  
14日 宮崎地方法務局日向支局の存続を求める要望活動(福岡市)  
17日 山形県山形市議会来訪  
19日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会  
24日 北海道北広島市議会来訪  
26日 埼玉県春日部市議会来訪  
第2回宮崎県北部広域行政事務組合  
31日 広域連合長選挙(広域連合事務局)
- 4月1日 名誉市民顕彰式  
8日 大阪府松原市議会来訪

次の定例会は6月に開会予定です

(開会日は6月6日(金)の予定です)

## 中小企業振興基本条例は、再度継続審議に

前議会、初の議員発議による政策条例として、「日向市中小企業振興基本条例」が提案され、特別委員会を設置しましたが、閉会中の継続審査となり、条例の審査が行われてきました。

特別委員会は二月四日、二月二十一日の二日間開催されました。同日ともに、再度、各議員から条例についての目的や文章表現等について、提案者に質問があり、条例案について直接審議する審査特別委員会ではなく、条例について

の調査研究を行い条例案を作成審査する調査研究特別委員会を設置し、全議員で再度条例案からの検討を行うべきで、一度提案を取り下げしてはどうかとの意見や、来年度(平成二十年)市の策定する「中小企業振興基本計画」と同時並行する形で条例を作成してはどうか、また、中小企業の切実な要望に応え、厳しい現状に置かれるためには、本条例を制定すべきなどの意見が出されました。

しかし、提案者側からは、取り下げはせず、このままの条例案で審査を続けたい旨の答弁があり、特別委員会では更なる審査が必要として、継続審査の動議が出され、採決の結果、賛成多数で継続審査となりました。



特別委員会現地視察

宮崎地方法務局日向支局の存続を求める要望活動

去る三月十日、十四日に、宮崎地方法務局日向支局(鶴町)の存続を求め、宮崎、福岡両市の法務局へ、東臼杵管内の自治体関係諸団体連名で要望書を提出しました。

宮崎地方法務局日向支局は、日向入郷圏域九万四千人の登記事務になくしてはならない機関で、引き続き存続を求める活動を続けていきます。



要望活動の様子

本紙に掲載された質問や答弁など、詳しい内容をお知りになりたい方は、会議録(五月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は議会事務局、市立図書館、各支所に備えています。また、市議会のホームページでも会議録の検索と閲覧が出来ます。

お問い合わせは、議会事務局まで

TEL (09) 83348

E-mail gika@hyuga-city.jp